



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東
 コード番号 6078 URL https://www.valuehr.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 藤田 源太郎 TEL 03-6380-1300
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 2019年8月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,122	20.6	381	33.4	368	200.7	241	241.3
2018年12月期第2四半期	1,759	20.4	285	34.4	122	△44.3	70	△47.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 255百万円 (301.2%) 2018年12月期第2四半期 63百万円 (△62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	40.85	40.30
2018年12月期第2四半期	12.39	11.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	10,532	2,349	22.3	397.39
2018年12月期	10,768	2,264	21.0	381.14

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,347百万円 2018年12月期 2,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.50	—	15.50	24.00
2019年12月期	—	13.00			
2019年12月期（予想）			—	17.00	30.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,233	17.9	778	34.5	734	87.0	483	98.9	81.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の8ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	6,058,600株	2018年12月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	151,821株	2018年12月期	116,321株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	5,917,636株	2018年12月期2Q	5,714,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、働き方改革の実践や健康経営・健康投資の推進などといった社会環境の変化を受け、従業員一人ひとりの労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性が一層の高まりを見せております。また、企業における従業員に対する健康管理（健診受診と保健指導の実施、メンタルヘルス対策や過重労働対策等）への取り組みは、安全配慮義務、生産性向上、企業価値向上の観点からも、ますます強化される傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下の2つの事業セグメントにより展開しております。

バリューカフェテリア事業

主に健康保険組合、企業等の団体などを対象としたバリューカフェテリア®システムと、これを構成する健康管理各種サービス（健診予約システム、健診結果管理システム等）やカフェテリアプランの提供及びこれらのシステムを使った健康管理に付随する事務代行サービス、並びに健診機関への業務支援サービス等で構成されております。

HRマネジメント事業

主に健康保険組合のより効率的な運営の支援を目的として、健康保険組合の新規設立支援のコンサルティング及び健康保険組合の運営支援としての人材派遣やBPOサービス等の業務で構成されております。

当第2四半期連結累計期間は、前期に引き続き働き方改革や健康経営の推進などの社会環境の変化を背景に、バリューカフェテリア事業での新規顧客の獲得や既存顧客によるサービス利用の受託業務が増加し、営業活動における経営成績を大きく牽引しました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく増加した主な要因は、前第2四半期連結累計期間におきまして事業拡大への対応として事業用固定資産取得に伴う資金調達に係る費用（シンジケートローン手数料170,000千円）を営業外費用に計上してはりましたが、当第2四半期連結累計期間では、当該営業外費用の計上がなかったことによります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,122,668千円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は381,318千円（同33.4%増）、経常利益は368,138千円（同200.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は241,738千円（同241.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

バリューカフェテリア事業

当第2四半期連結累計期間は、既存顧客によるバリューカフェテリア®サービスの利用が伸長し、健診代行や健康管理関連事業では、新規顧客の獲得と既存顧客からの受託業務の増加により取扱業務が拡大したことから関連収入が大幅に増加しました。これにより、売上高は1,680,149千円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益は564,412千円（同15.7%増）となりました。

HRマネジメント事業

当第2四半期連結累計期間は、前期に受注した健康保険組合の設立支援コンサルティングの継続対応に加え、新規設立の健康保険組合運営支援業務等の受注が増加しました。これにより、売上高は442,519千円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は104,225千円（同73.0%増）となりました。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,122,813千円(前連結会計年度末は2,535,785千円)となり、412,971千円減少しました。これは、現金及び預金が519,213千円減少したことが主な要因です。固定資産は8,409,901千円(前連結会計年度末は8,232,439千円)となり、177,461千円増加しました。これは、事業用固定資産取得により有形固定資産のその他(純額)に含まれる建設仮勘定が90,711千円増加及び投資その他の資産に含まれる投資有価証券が75,942千円増加したことが主な要因です。これらの結果、総資産は10,532,714千円(前連結会計年度末は10,768,224千円)となり、235,509千円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,278,553千円(前連結会計年度末は2,720,575千円)となり、442,021千円減少しました。これは、支払代行業務の繁忙期を過ぎたことにより預り金が590,728千円減少したことと、その他の流動負債に含まれる未払金が71,182千円増加、前受金が36,941千円増加及び営業預り金が22,595千円増加したことが要因です。固定負債は5,904,635千円(前連結会計年度末は5,783,172千円)となり、121,462千円増加しました。これは、主に事業用固定資産取得のための新規借入等により長期借入金が81,304千円増加及びその他固定負債に含まれる長期リース債務が35,079千円増加したことが要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,349,526千円(前連結会計年度末は2,264,476千円)となり、85,049千円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益241,738千円、配当金91,972千円の支払い及び自己株式87,990千円の取得等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ519,213千円減少し、1,380,910千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は168,988千円(前年同四半期は125,098千円の使用)となりました。これは主に預り金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は230,045千円(前年同四半期は4,685,769千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出及び投資有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得使用した資金は120,179千円(前年同四半期は4,333,054千円の獲得)となりました。これは主に自己株式の取得及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前期に引き続き働き方改革や健康経営の推進を受けて需要が拡大している健康管理各種サービスを展開するバリューカフェテリア事業が連結全体の売上高・利益ともに好調に推移いたしました。なお、前述のとおり足元の営業活動による業績は好調に推移しており、通期の業績予想は上回る見通しですが、現時点においては、当第2四半期の業績を踏まえ、下期の動向等を精査中であり、前回公表予想を据え置くことといたします。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,900,124	1,380,910
売掛金	365,584	409,090
商品	1,691	2,137
仕掛品	3,281	5,994
貯蔵品	19,692	15,929
その他	245,411	308,751
流動資産合計	2,535,785	2,122,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,340	689,533
土地	6,224,802	6,224,802
その他(純額)	491,546	590,167
有形固定資産合計	7,416,690	7,504,504
無形固定資産	253,504	282,336
投資その他の資産	562,244	623,060
固定資産合計	8,232,439	8,409,901
資産合計	10,768,224	10,532,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,819	115,642
短期借入金	189,956	159,620
未払法人税等	108,504	141,246
預り金	1,188,349	597,620
その他	1,140,946	1,264,424
流動負債合計	2,720,575	2,278,553
固定負債		
長期借入金	5,650,332	5,731,636
その他	132,840	172,999
固定負債合計	5,783,172	5,904,635
負債合計	8,503,748	8,183,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,796	520,763
資本剰余金	559,707	564,675
利益剰余金	1,355,904	1,505,670
自己株式	△207,476	△295,466
株主資本合計	2,223,932	2,295,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,643	51,664
その他の包括利益累計額合計	37,643	51,664
新株予約権	2,901	2,217
純資産合計	2,264,476	2,349,526
負債純資産合計	10,768,224	10,532,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,759,478	2,122,668
売上原価	1,041,622	1,263,785
売上総利益	717,856	858,883
販売費及び一般管理費	431,950	477,565
営業利益	285,906	381,318
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	1,298	3,409
補助金収入	23,356	3,438
その他	433	1,095
営業外収益合計	25,093	7,948
営業外費用		
支払利息	16,299	19,389
シンジケートローン手数料	170,000	-
その他	2,292	1,739
営業外費用合計	188,592	21,128
経常利益	122,407	368,138
特別利益		
新株予約権戻入益	-	498
特別利益合計	-	498
税金等調整前四半期純利益	122,407	368,636
法人税等	51,573	126,898
四半期純利益	70,833	241,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,833	241,738

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	70,833	241,738
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△7,079	14,021
その他の包括利益合計	△7,079	14,021
四半期包括利益	63,754	255,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,754	255,759
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,407	368,636
減価償却費	59,491	69,439
敷金及び保証金償却額	3,950	4,528
受取利息及び受取配当金	△1,303	△3,414
補助金収入	△23,356	△3,438
支払利息	16,299	19,389
シンジケートローン手数料	170,000	-
売上債権の増減額(△は増加)	△2,641	△43,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,258	603
リース債務の増減額(△は減少)	117	37,761
リース投資資産の増減額(△は増加)	△22	△38,600
仕入債務の増減額(△は減少)	37,296	22,822
預り金の増減額(△は減少)	△517,965	△590,728
その他	106,187	92,431
小計	△43,797	△64,073
利息及び配当金の受取額	1,303	3,414
利息の支払額	△16,304	△19,393
法人税等の支払額	△89,655	△92,373
補助金の受取額	23,356	3,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,098	△168,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,598,958	△111,487
無形固定資産の取得による支出	△60,376	△66,342
投資有価証券の取得による支出	-	△56,616
敷金及び保証金の差入による支出	△29,692	△1,880
敷金及び保証金の回収による収入	870	-
預り保証金の返還による支出	-	△7,310
預り保証金の受入による収入	7,288	13,591
その他	△4,900	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,685,769	△230,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,680,000	161,700
長期借入金の返済による支出	△117,024	△110,732
ストックオプションの行使による収入	13,304	9,750
新株予約権の発行による収入	440	-
自己株式の取得による支出	△100	△87,990
配当金の支払額	△72,742	△92,047
シンジケートローン手数料の支払額	△170,000	-
その他	△824	△860
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,333,054	△120,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△477,813	△519,213
現金及び現金同等物の期首残高	1,904,307	1,900,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,426,494	1,380,910

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,389,047	370,431	1,759,478	—	1,759,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,389,047	370,431	1,759,478	—	1,759,478
セグメント利益	487,950	60,249	548,199	△262,293	285,906

(注) 1. セグメント利益の調整額△262,293千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,680,149	442,519	2,122,668	—	2,122,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,680,149	442,519	2,122,668	—	2,122,668
セグメント利益	564,412	104,225	668,638	△287,319	381,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,319千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。